セキュリティ技術 I		科目コード	2017		7021	
情報シス	ステム科	コース	IT 高度専門士	コース	学生	₹ 2年
黒澤 伸也			実務経験教員(有・無))			
実務経験内	容					
前期・後期・通年・特別講義			義・その他	授業コマ数		60 時間
必 須・ 選 択 ・ 選択必須				単位	数	2 単位
書名	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト					
著者	Security Education Alliance/Japan (SEA/J)					)
出版社	Security (	Educatio	on Alliance/Ja	e/Japan (SEA/J	)	
書名						
著者						
出版社						
情報セキ	ュリティス	ペシャリ	スト教科書			
講義・	演習 •	実習	• 実験 •	その他	(	)
	情報シン 黒澤 経験体 前 必 名 者 社 名 者 社 七 書 著 版 報 七 十 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	情報システム科 黒澤 伸也 実務経験内容  (前期・後期・通年  必 須・ 選 書 名 情報セキニ 著 者 Security を 出版社 Security を 書 名 著 者 出版社	情報システム科 コース 黒澤 伸也 実務経験内容 (前期・後期・通年・特別講師)  「必須・選択・ 書名 情報セキュリティ技 著者 Security Education 出版社 Security Education 書名 著者 出版社 情報セキュリティスペシャリ	情報システム科 コース IT 高度専門士 黒澤 伸也 実務経験教員 実務経験内容 (前期・後期・通年・特別講義・その他 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須 書 名 情報セキュリティ技術認定 基礎コ 苦 者 Security Education Alliance/Ja 出版社 Security Education Alliance/Ja 書 名 著 者 出版社 「情報セキュリティスペシャリスト教科書	情報システム科 コース IT 高度専門士コース 黒澤 伸也 実務経験物員(有 実務経験内容 ) 実務経験物員(有 実務経験内容 ) 単位	情報システム科 コース IT 高度専門士コース 学 名 実務経験内容 実務経験教員(有・無 実務経験内容 と

#### <授業の目的・目標>

SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM」試験の合格 ※CSBM: Certified Security Basic Master

#### <授業の概要・授業方針>

SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM 試験」の合格にむけて、 業務現場での実例などを挙げつつ解説をしていく。

## <成績基準・評価基準>

- 筆記試験
- 100~80点:優 79~70点:良 69~60点:可 59点以下:不可 なお、追試験を行う場合はすべて可と評価する。

### 〈使用問題集・注意事項〉

- CSBM 試験の問題集が存在しないため、実例も含めて細かくメモを取らせる
- ・CSBM 試験の過去問題は絶対に使わない。契約上コピーなどを取ることも禁止されているので、もし発覚した場合には契約解除および学生の合格取り消しにつながる
- 授業を行うために認定インストラクターになる必要がある。

## <授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

- ・コンピュータ概論 I ・ I
- 対策演習

授業	授業科目名 セキュリティ技術 [			
		授業内容	備考	
1	SEA/J	とセミナー、社会人教育について		
2	情報セキ	Fュリティの構成要素		
3	情報資產	Ĭ		
4	脅威と脈	弱性、PDCA		
5	標準規格	N. リスク		
6	情報セキ	Fュリティポリシー		
7	教育•訓	練		
8	情報セキ	Fュリティ監査・運用		
9	人的セキ	Fュリティ		
10	TCP/IP			
11	HUB			
12	VPN の	構成		
13	無線LA	N の脅威		
14	無線LA	N のセキュリティ		
15	不正アク	7セス(犯罪との関係、偵察行為)		
16	パスワー	- ドクラック、不正アクセス手法		
17	不正アク	フセスからの攻撃		
18	ファイブ	アウォール		
19	パケット	-フィルタリング		
20	NAT			
21	ファイブ	プウォールの導入・運用		
22	検知技術	i : NIDS		
23	検知技術	访:HIDS		
24	検知アル	レゴリズム・関連技術		
25	DNS の	構成		
26	DNS t	キュリティ		
27	電子メー	-ルの仕組み		
28	メールサ	ナーバーの脅威		
29	メールク	7ライアントのセキュリティ 		
30	Web シ	ステムの仕組み		

# (学) 宮崎総合学院 宮崎情報ビジネス医療専門学校 授業シラバス

	授業内容	備	考
31	Web システムのセキュリティ		
32	サービス管理・ファイルシステム管理		
33	アカウント管理		
34	ネットワーク保護・修正プログラム		
35	ログ管理・監査機能・TrustedOS		
36	パスワード認証		
37	バイオメトリクス認証・認証デバイス		
38	認証プロトコル・アクセス制御手法		
39	プログラム処理		
40	バッファオーバーフロー・オブジェクト指向		
41	不正プログラムとは		
42	感染経路		
43	不正プログラムの活動		
44	検出方法		
45	暗号(共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式)		
46	暗号化アルゴリズム		
47	ハッシュ		
48	電子署名		
49	電子証明書		
50	認証局		
51	セキュリティプロトコル(PGP・S/MIME)		
52	セキュリティプロトコル(SSH)		
53	セキュリティプロトコル(TLS/SSL)		
54	セキュリティプロトコル(IPsec)		
55	法令•規格(1)		
56	法令•規格(2)		
57	法令•規格(3)		
58	法令•規格(4)		
59	確認演習		
60	確認演習		